

報道関係各位

平成24年 4月4日  
株式会社 クロス・マーケティング  
(東証マザーズ3629)

## 子供のパソコン利用開始は、小学1・2年から「将来性を考えて」。 パソコンを利用するメリットとして、 「好奇心が旺盛になる」、「親子のコミュニケーション増」などが多い

### 子供にIT教育をしてほしい著名人は「尾木ママ」がトップ。

—「子供のパソコン利用に関する親の意識調査」—

株式会社クロス・マーケティング(本社:東京都中央区 代表取締役社長:五十嵐 幹)では、全国の「4-12歳までの子供を持つ女性(※パソコン所有者)」500人を対象に、「子供のパソコン利用に関する親の意識調査」を実施いたしました。

#### ■調査背景・目的

日本はパソコンの世帯普及率が約8割であり、先進国と比べてもやや劣っている昨今、子供がいる家庭の「子供のパソコン利用状況」を把握するとともに、親は「子供がパソコンを使うこと(使わせること)」にどのような意識を持っているのか?また、子供にパソコンを使わせることについてのメリットや、不安要素はどのようなものなのか?を明らかにする調査を行いました。

#### ■調査結果トピックス

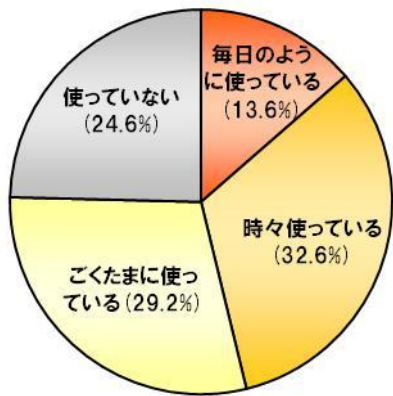
- ✓ 子供のパソコン利用は全体の約8割。利用開始は平均6.7歳から(※一番早い人で1歳という人も) <図1>
- ✓ パソコンを利用するメリットは「好奇心が旺盛になった」や「親子のコミュニケーションが増えた」が多い。  
また、その他の意見としては、「語学が強くなった(アルファベット、漢字を覚える)」という意見もあがっている。 <図2>
- ✓ パソコンの利用内容(各コンテンツ毎の利用時間TOP3)は、テレビ・DVD鑑賞、掲示板・チャット、オンラインゲームが多い<図3>
- ✓ 子供の「将来性」を意識!?パソコン利用要因の上位に(※「子供の自発的利用」以外の理由) <図4>
- ✓ パソコンを利用をさせること不安要因は、“(長時間プレイが原因と思われる)視力低下”や“不健全なサイトへのアクセス”が6割を超えて多い<図5>
- ✓ パソコンの利用上の注意点は、「母親」から教わっている子供が7割で最も多い<図6>
- ✓ 母親が選ぶ「わが子にIT教育をしてほしい著名人」は、「尾木直樹(尾木ママ)」がトップ<図6>

◆自主調査レポートの続きはこちらへ⇒ [http://www.cross-m.co.jp/report/report.html\\$/id/27872/](http://www.cross-m.co.jp/report/report.html$/id/27872/)

#### ■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ(クロス・マーケティング アンケートモニター使用)  
調査対象 : 全国の「4-12歳までの子供を持つ女性(※パソコン所有者)」  
調査期間 : 2012年2月25日(土)~2012年2月28日(火)  
有効回答数 : 500サンプル  
回答者属性 : 子供の年齢により割付。

〈図1〉子供のパソコン利用頻度



**利用開始年齢:平均6.7歳**

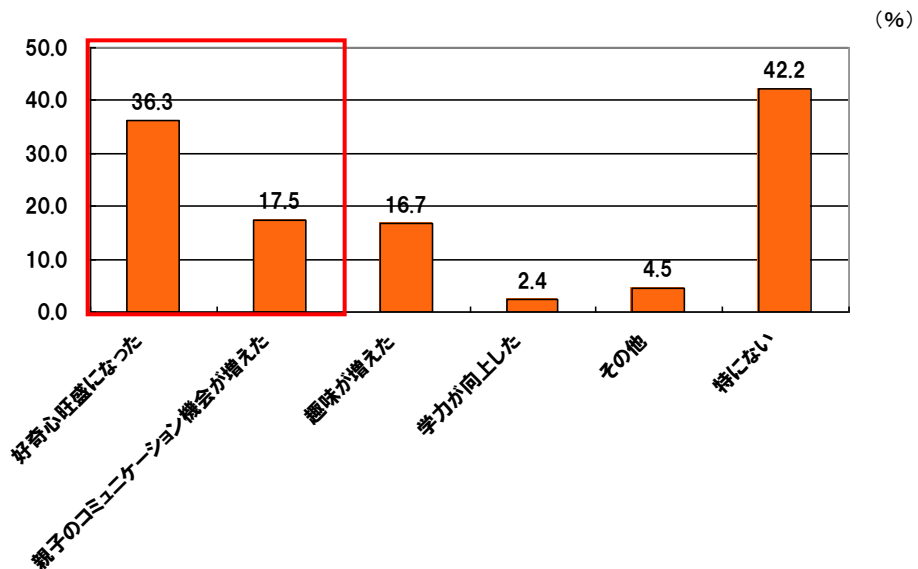
**【最少】利用開始年齢:1歳(※1名)**

**利用率:75.4%**

〈図2〉子供にパソコンを利用させることのメリット

TOP1:好奇心旺盛になった 36.3%

TOP2:親子のコミュニケーション機会が増えた 17.5%

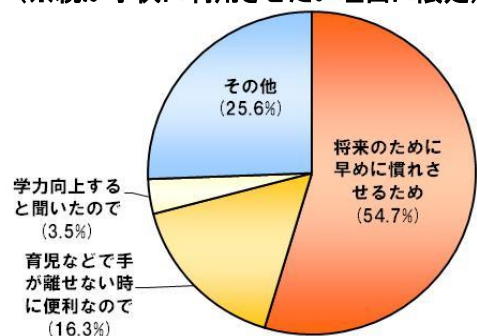


〈図3〉子供のパソコン利用内容  
(各コンテンツ毎の平均利用時間TOP3)

(分)

1	テレビ・DVD鑑賞	35.56
2	掲示板閲覧・書き込み／チャット	34.62
3	オンラインゲーム	31.69

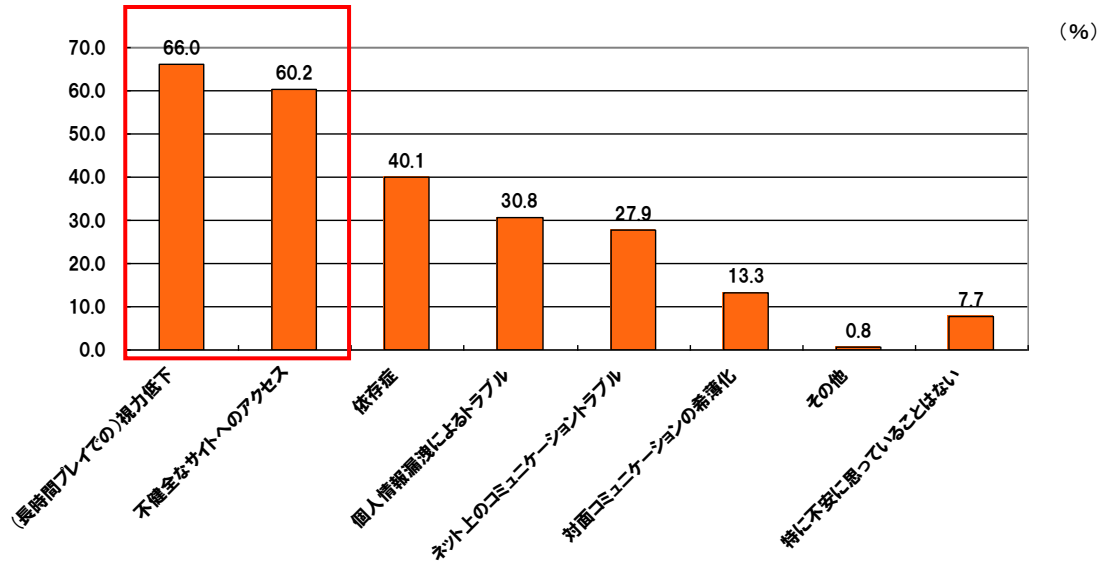
〈図4〉子供にパソコンを利用させている理由  
(※親が子供に利用させたい理由に限定)



※「子供が使いたいと自発的に言ってきたので」と「特になし」は除く

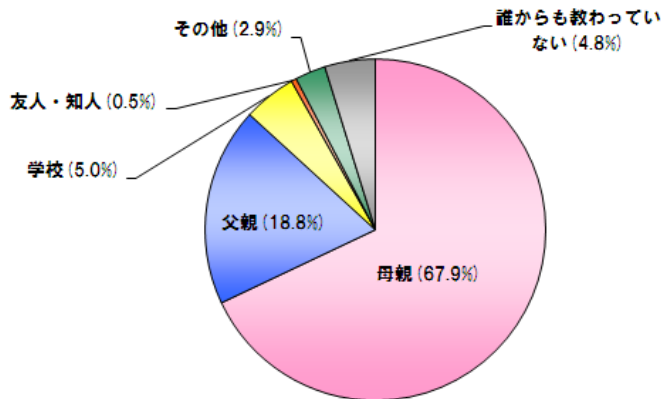
〈図5〉 子供にパソコンを利用させることの不安要因

TOP1:(長時間プレイでの)視力低下 66.0%  
TOP2:不健全サイトへのアクセス 60.2%



〈図6〉 子供は誰からパソコンを教わっているか？(利用上の注意)

子供にIT教育をしてほしい著名人(TOP3)



順位	著名人	件数 (件)
1	尾木直樹(尾木ママ)	26
2	孫正義	24
3	池上彰	16

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>  
 所在地 : 東京都中央区銀座8-15-2 銀座COMビル6F  
 設立 : 2003年4月1日  
 公開市場 : 東証マザーズ(証券コード:3629)  
 代表者 : 代表取締役社長 五十嵐 幹  
 事業内容 : マーケティング・リサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当:大島、天井澤(あまいざわ) TEL:03-3549-0603 FAX:03-3549-0232  
 E-mail [pr-cm@cross-m.co.jp](mailto:pr-cm@cross-m.co.jp)

〈引用・転載時のクレジット表記のお願い〉

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

〈例〉「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」